

令和5年9月1日号

取組状況(1) 第7回秦野名水フェスティバルを開催 [神奈川県秦野市]

神奈川県秦野市では、「水の週間」にあわせて、市民参加型イベント「秦野名水フェスティバル」を毎年開催しています。今年は、「私たち(we)と芸術(ART)をつなぐ水(wATeR)」をテーマとして、来場者のみなさまに「芸術—ART—」を通して水の清廉さ、生活との関わりを知ると共に、様々な体験を通じ、水に触れ「名水の里 はだの」を感じていただきました。

クアーズテック秦野カルチャーホール(秦野市文化会館)を会場に、大人から子供まで様々な世代の方々が、各種プログラムに自由に参加いただき、楽しい一日を過ごしていただきました。

- 開催日 令和5年8月5日(土)10:00~15:00
- 参加者 約700人
- 内容 (1)秦野名水復活20周年記念式典
平成に発覚した地下水汚染問題から名水復活まで、先人(市民、事業者、行政)の思いと取組みを振り返る式典
- (2)HADANO ART & LIVE
秦野ゆかりのアーティスト「長嶋芙蓉氏(水墨画家)」「立石純子氏(シンガーソングライター)」によるライブペイントとコンサート
- (3)ポーリング(たらしこみ)アート体験
東海大学の学生との連携によるアート体験
- (4)名水科学実験SHOW 名水科学実験LABO
東海大学秋山研究室の科学実験ショーと水を使った科学実験の体験ブース
- (5)名水水族館
東海大学北野教授による秦野の里山に生息する生物が観察し、触れられる水族館
- (6)名水博物館
秦野市の環境(地下水保全)施策がよくわかるブース
- (7)秦野名水マルシェ
秦野名水を使用した名店の出店
- (8)秦野名水巡りスタンプラリーほか
会場内7か所にスタンプを設置、イラストを完成させるイベント



(公財)くまもと地下水財団では、8月1日の水の日を記念して、「令和5年度水の日記念シンポジウム『未来へつなぐくまもの水物語』」を開催しました。

熊本地域一体となった地下水保全意識の向上を図り、熊本の宝である地下水の魅力を発信するために毎年開催しており、今年度は、熊本の水文化を世界に発信する高校生の活動紹介や、熊本の水に関する魅力・疑問を大学の先生を交え一緒に語るトークショーなど、参加者の皆さまと一緒に楽しみながら熊本の水について考えられる内容で、好評のうちに終了しました。

参加者の皆さまからは、「高校生の活躍が頼もしい」「先生の分かりやすい解説で熊本の地下水について理解が深まった」「地下水を思い大切にしたい」などの感想もいただき、改めて熊本の地下水について考える機会になりました。

熊本の宝である地下水を未来へつないでいくために、地域一体となり地下水保全活動を推進してまいります。



ユース水フォーラムくまもと
による活動紹介



トークショー
「モッチャンと語ろう！くまもの水」

水循環の一部である「地下水」についての理解と関心を深めていただくための動画を、地下水マネジメント推進プラットフォームにアップしましたので、ご自由にご活用ください。



<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/gmpp/tools/tool03.html>



QRコード

貴重な水資源や健全な水循環についての理解と関心を深めることを目的に、8月1日を「水の日」と定め、水の大切さに関する普及啓発活動が、全国各地で展開されました。

本号では、その中で特に「地下水」にクローズアップして取り組まれた、秦野市さんと、くまもと地下水財団さんの、関連行事開催状況を紹介させていただきました。

このような行事を通じて、地下水マネジメントが地域にも浸透されるきっかけになればと思います。